

第二次選定の検討対象種一覧 植物(案)

* 要: 要注意リスト掲載種、日本生態学会ワースト100、IUCNワースト100						
導入・利用の形態		和名	学名	*	文献等で指摘されている影響の内容	摘要
○ 第二次の特定外来生物の選定作業が必要と考えられる外来生物						
意図的 導入	水草	アカウケサキ属	<i>Azolla sp.</i>	要	生態系(競合・駆逐、遺伝的攪乱)	アゾラーアイガモ農法での使用で急速に分布が広がり、絶滅危惧種の遺伝的攪乱のおそれがある。
		オオカサモ	<i>Myriophyllum brasiliense</i>	要	生態系(競合・駆逐)	ヒト・ブ創出や水質浄化目的等に利用されているが、過繁茂により問題を引き起こしている。
	ホタンウケサキ	<i>Pistia stratiotes</i>	要	生態系(競合・駆逐)	ヒト・ブ植物や、金魚用の浮き草として広く販売されているが、九州などで大発生している。	
	陸生	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	要	生態系(競合・駆逐)	ワイドラワー・緑化などで使用されたものが、河川敷などに逸出している。
オオハコソウ		<i>Rudbeckia laciniata</i>	要	生態系(競合・駆逐)	国立公園など自然性の高い場所で大群落を形成し、駆除活動の対象となっている。	
非意図的 導入	混入等	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	要	生態系(競合・駆逐)	河川敷に侵入し、在来種の生育を脅かしている。飼料畑などの雑害雑草になっている。
		オオカサモ	<i>Veronica angallis-aquatica</i>	要	生態系(競合・駆逐、遺伝的攪乱)	水辺で大群落を形成するとともに、絶滅危惧種の遺伝的攪乱を引き起こしている。
	オオカサモ	<i>Ambrosia trifida</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)	河川敷などに侵入し、絶滅危惧種の生育を脅かしている。	
	オオカサモ	<i>Senesio madagascariensis</i>	他	生態系(競合・駆逐)	海外では侵略的な外来種とされ、日本でも近年急激に分布を拡大している。	
	未導入	ハルビイチ・アングラ	<i>Spartina anglica</i>	生態系(競合・駆逐)	温帯～亜熱帯域の淡水域や汽水域に生育するイネの多年草で、在来の動植物に影響を及ぼすおそれがある。	

○ 被害に係る一定の知見はあり、被害の防止に向けた普及啓発・防除手法の具体的な検討を進めつつ、引きつづき、指定の適否につき検討する外来生物

意図的導入	水草	オオカサモ	Egeria densa	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Hydrilla verticillata	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)
	陸生	オオカサモ	Eichhornia crassipes	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Solidago altissima	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)

○ 総合的な検討を進める外来生物

意図的導入	緑化など	イタチハキ	Amorpha fruticosa	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)
		キンネム	Leucaena leucocephala	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)
		ハクシジュ	Robinia pseudoacacia	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)
		トリネミミキ	Ligustrum lucidum	要	生態系(競合・駆逐)
		ハクシジュ	Artemisia sieversiana	要	生態系(競合・駆逐)
		シタレスミカヤ	Eragrostis curvula	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)
		オオカサモ	Festuca arundinacea	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		カモカヤ	Dactylis glomerata	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		シムキ	Elymus repens	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Lolium multiflorum・L. perenne	他	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		オオカサモ	Paspalum distichum var. distichum	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Phleum pratense	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		緑化植物の利用実態の把握、緑化植物による生態系等への被害の発生構造の把握、代替的手法や代替的緑化植物の適用可能性の検討などを行う。			

○ 関係者に利用に当たったの注意を呼びかけるとともに、被害に係る知見等の情報の集積を図る必要がある外来生物

意図的導入	水草	オオササギ	Salvinia molesta	要	生態系(競合・駆逐、遺伝的攪乱)、農林水産業
		ハクシジュ	Cabomba caroliniana	要	生態系(競合・駆逐)
		オオカサモ	Ludwigia repens	要	生態系(競合・駆逐)
		オオカサモ	Bacopa monnieri	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		ハクシジュ	Nymphoides aquatica	要	生態系(競合・駆逐)
		オオカサモ	Sagittaria graminea	要	生態系(競合・駆逐)
		オオカサモ	Iris pseudoacorus	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		オオカサモ	Datura sp.	他	農林水産業、人の生命又は身体
	陸生	オオカサモ	Oxalis corymbosa	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業
		ハクシジュ	Erigeron philadelphicus	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Senectis annuus	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業
		オオカサモ	Tradescantia fluminensis	要	生態系(競合・駆逐)
		運搬や栽培は、管理されている場所や施設以外へ逸出を起こさない適切な方法で行うことが重要。また、遺棄を起こすことがないよう、関係業者や栽培者に普及啓発を行うことが重要。ビオトープ創出等の目的で公共事業や学校教育において利用する場合には地域の生態系への影響に注意が必要。			

資料3

導入・利用の形態		和名	学名	*	文献等で指摘されている影響の内容	摘要
その他		ヘリコ	<i>Helianthus tuberosus</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	運搬や栽培は、管理されている場所や施設以外へ逸出を起こさない適切な方法で行うことが重要。また、遺棄を起すことがないよう、関係業者や栽培者に普及啓発を行うことが重要。
		外来種カラス	<i>Taraxacum officinale</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱、遺伝的攪乱)、農林水産業	
混入等		オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		ハルビ	<i>Amaranthus spinosus</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		イビ	<i>Abutilon theophrasti</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		エノキシキ	<i>Rumex obtusifolius</i> var. <i>agrestis</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
非意図的導入		ハルサキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	逸出して生態系等に影響を及ぼすことを防止するため、導入される経路について現状を把握し、管理されている場所や施設以外への逸出を防ぐ方を検討することが必要。
		トクソクシ	<i>Conium maculatum</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		マツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		マツヨイグサ	<i>Oenothera lacinata</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)	
		ワルナスビ	<i>Solanum carolinens</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		ヤセウラボ	<i>Orobanch minor</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		ハラオハコ	<i>Plantago lanceolata</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		アメリカナツカサ	<i>Cuscuta pentagona</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		セウキヒルカ	<i>Convolvulus arvensis</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		オウゴンムク	<i>Diodia teres</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)	
		アメリカオマサミ	<i>Cirsium vulgare</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		カシロモト	<i>Anthemis cotula</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		アサガサ	<i>Ambrosia elatior</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		アサガサ	<i>Hypochoeris glabra</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		オオアサミ	<i>Xanthium canadense</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		センダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>polosa</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		オオアサミ	<i>Conyza sumatrensis</i>	要	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	
		ヒメムカサキ	<i>Erigeron canadensis</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		アメリカナルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		アメリカアザミ	<i>Cyperus eragrostis</i>	要	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	
		アザミ	<i>Cyperus esculentus</i>	他	農林水産業	
未定着(一部は観賞用に栽培、逸出している)		アリシマカサ	<i>Acacia mearnsii</i>	生	生態系(競合・駆逐)	緑化用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		セイロツツシ	<i>Ardisia elliptica</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		ヤブタケ	<i>Cecropia peltata</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		ヒメツバキ	<i>Chromolaena odorata</i>	生	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	日本には侵入していないが、沖縄などの暖地では、侵入の可能性があるので注意が必要である。
		アサギナ	<i>Cinchona pubescens</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		アメリカナツカサ	<i>Cleome hirta</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		キハナシクシ	<i>Hedychium gardnerianum</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		アサギナ	<i>Lantana camara</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	鑑賞用などに利用されており、沖縄や小笠原諸島では野生化しており、分布が拡大しないよう注意が必要である。
		リグナム・ロブナム	<i>Ligustrum robustum</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		カブチ	<i>Melaleuca quinquenervia</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		オハナ	<i>Miconia calvescens</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		ミカン・ミカン	<i>Mikania micrantha</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		ミモサ・ヒメ	<i>Mimosa pigra</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	日本には侵入していないが、沖縄などの暖地では、侵入の可能性があるので注意が必要である。
		モレ・フヤ	<i>Morella faya</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		オウゴン・ストリ	<i>Opuntia stricta</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		アサギナ	<i>Pinus pinaster</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に定着できる可能性がある。導入する場合には、管理方法などに注意が必要である。
		アサギナ	<i>Prosopis glandulosa</i>	生	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)	日本に侵入する可能性は低い。沖縄などの暖地では、注意が必要である。
		アサギナ	<i>Psidium cattleianum</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに利用されており、小笠原諸島では野生化している。分布が拡大しないよう注意が必要である。
		アサギナ	<i>Rubus ellipticus</i>	生	生態系(競合・駆逐)	日本に定着できる可能性がある。導入する場合には、管理方法などに注意が必要である。
		アサギナ	<i>Schinus terebinthifolius</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに利用されており、小笠原諸島では野生化している。分布が拡大しないよう注意が必要である。
		アサギナ	<i>Spathodea campanulata</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	鑑賞用などに、沖縄などの一部の地域で利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		アサギナ	<i>Tamarix ramosissima</i>	生	生態系(競合・駆逐)	鑑賞用などに、流通、利用されているが、逸出しないような適切な管理が必要である。
		アサギナ	<i>Ulex europaeus</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	鑑賞用などに栽培され、各地で野生化している。分布が拡大しないよう注意が必要である。
		アサギナ	<i>Sphagneticola trilobata</i>	生	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	鑑賞用などに利用されており、沖縄では野生化している。分布が拡大しないよう注意が必要である。